

## 運 営 規 定

- 1 競技運営に関する事項は、2024年度競技者必携に定めるもの及び以下の事項を適用して実施する。
- 2 その日の第一試合のチームは、外野に限り練習を行って良い。ただし、試合前練習と同様にユニフォーム未着用でグラウンドに入らない。なお、選手及び監督、コーチ以外は、グラウンドに入らない。
- 3 試合開始予定時刻の 60 分前までに会場に到着し、大会本部に到着の旨を報告すること。なお、試合開始予定時刻になっても到着していないチームは、原則棄権とみなす。
- 4 打順表の提出は、全試合、試合開始予定時刻の 30 分前までに、監督と主将が大会本部に提出し、登録原簿と照合した後、球審立会いのもと攻守を決定する。
- 5 試合中の次試合チームのブルペン投球練習については、球場責任者の許可を得ること。
- 6 両チームの態勢が整っている場合は、試合開始予定時刻より早く試合を開始することがある。なお、試合時間によってはシートノックを中止することがある。
- 7 試合時間短縮のため、次の事項を厳守すること。
  - ① 攻守交替は、全力疾走で行うこと。
  - ② 打者は速やかに打席に入ること。打席に入る際、球審への脱帽はさせないこと。
  - ③ 投球を受けた捕手は速やかに返球すること。
  - ④ 試合終了後の相手チームや本部に対するグラウンド内での整列、礼は行わないこと。
- 8 守備が終わり、最後のボール保持者は、必ず投手板にボールを置いて（転がさないこと。）ベンチに戻ることに。
- 9 ファウルボールの処理については、次のとおりとする。
  - ① 一塁側に止まったものは、一塁側のチームが処理する。
  - ② 三塁側に止まったものは、三塁側のチームが処理する。
  - ③ 捕手の後方に止まったものは、攻撃側のチームが処理する。
- 10 ベンチ内のメガホンは、監督に限り使用を認める。
- 11 ベンチ内での電子機器類（携帯電話、パソコン等）の使用を禁止するが、電子スコア記録用として1台の使用を認める。
- 12 グラウンド内（ベンチを含む）では、喫煙及びガムなどを噛むことを禁止する。
- 13 試合に携わっている選手以外はベンチから出ないこと。ただし、選手同士が行うブルペン等での投球練習、キャッチボールは認める。
- 14 球場内外での多人数の素振りを禁止する。特にベンチ前（少数）での素振りは禁止する。
- 15 グラウンド整備は、当該試合の両チームの選手でシートノック終了後に行うこと。
- 16 守備の時間が長い場合には、健康維持を考慮し審判員の判断で給水タイムを設けることがある。（ロスタイムとして処理）
- 17 次の注意事項は、チーム関係者、保護者に周知徹底させること。
  - ① 応援団席は、ベンチより外野側とする。
  - ② 相手チームや審判員に対する聞き苦しい野次や暴言は厳禁とする。
  - ③ スタンドからの応援の野次暴言及び目に余る行為はチームの責任とする。
  - ④ 万一、救急車を要請する事態が発生した場合は、試合会場本部に連絡すること。